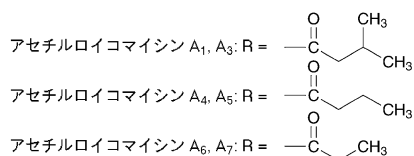
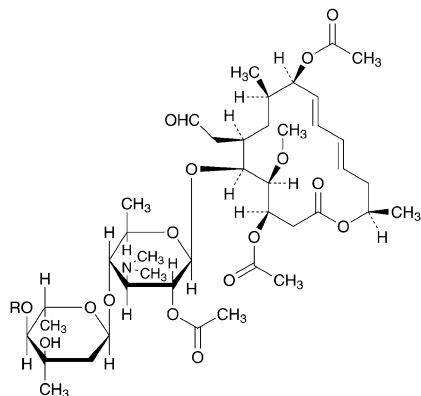


アセチルキタサマイシン

Acetylkidasamycin

キタサマイシン 酢酸エステル

アセチルロイコマイシン

(3*R*, 4*R*, 5*S*, 6*R*, 8*R*, 9*R*, 10*E*, 12*E*, 15*R*)-3, 9-Diacetoxy-5-[*O*-(4-*O*-acyl-2, 6-dideoxy-3-*C*-methyl- α -*L*-ribo-hexopyranosyl)-(1→4)-2-*O*-acetyl-3, 6-dideoxy-3-dimethylamino- β -*D*-glucopyranosyloxy]-6-formylmethyl-

4-methoxy-8-methylhexadeca-10, 12-dien-15-olide

アセチルロイコマイシン A₁, A₃: acyl = 3-methylbutanoylアセチルロイコマイシン A₄, A₅: acyl = butanoylアセチルロイコマイシン A₆, A₇: acyl = propanoyl

本品は定量するとき、換算した脱水物 1 mg 当たり 560 μ g (力価) 以上を含む。ただし、本品の力価は、ロイコマイシン A₅ (C₃₉H₆₆NO₁₄: 771.93) としての量をキタサマイシン質量 (力価) で表し、キタサマイシン 1 mg (力価) はロイコマイシン A₅ (C₃₉H₆₆NO₁₄) 0.530 mg に対応する。

性状 本品は白色～淡黄白色の粉末である。

本品はメタノール又はエタノール (95) に極めて溶けやすく、水にほとんど溶けない。

確認試験

(1) 本品のメタノール溶液 (1 → 40000) につき、紫外可視吸光度測定法により吸収スペクトルを測定し、本品のスペクトルと本品の参照スペクトルを比較するとき、同一波長のところに同様の強度の吸収を認める。

(2) 本品につき、赤外吸収スペクトル測定法の臭化カリウム錠剤法により試験を行い、本品のスペクトルと本品の参照スペクトルを比較するとき、両者のスペクトルは同一波数のところに同様の強度の吸収を認める。

水分 5.0 % 以下 (0.1 g, 容量滴定法, 直接滴定)。

定量法 次の条件に従い、抗生物質の微生物学的力価試験法 I. 円筒平板法により試験を行う。

(1) 試験菌 *Bacillus subtilis* ATCC 6633 を用いる。

(2) 培地 培地 (1) の 1) の i を用いる。

(3) 標準溶液 キタサマイシン標準品約 0.03 g (力価) に対応する量を精密に量り、メタノール 10 mL に溶かし、水を加えて正確に 100 mL とし、標準原液とする。標準原液は 5 °C 以下に保存し、3 日以内に使用する。用時、標準原液適量を正確に量り、pH 8.0 の 0.1 mol/L リン酸塩緩衝液を加えて 1 mL 中に 30 μ g (力価) 及び 7.5 μ g (力価) を含むように薄め、高濃度標準溶液及び低濃度標準溶液とする。

(4) 試料溶液 本品約 0.03 g (力価) に対応する量を精密に量り、メタノール 25 mL に溶かし、水を加えて正確に 50 mL とし、よく振り混ぜた後、37 ± 2 °C で 24 時間放置する。この液適量を正確に量り、pH 8.0 の 0.1 mol/L リン酸塩緩衝液を加えて 1 mL 中に 30 μ g (力価) 及び 7.5 μ g (力価) を含むように薄め、高濃度試料溶液及び低濃度試料溶液とする。

貯法 容器 気密容器。